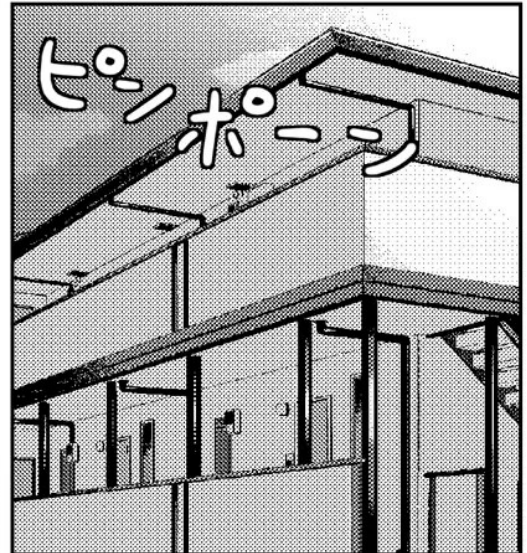
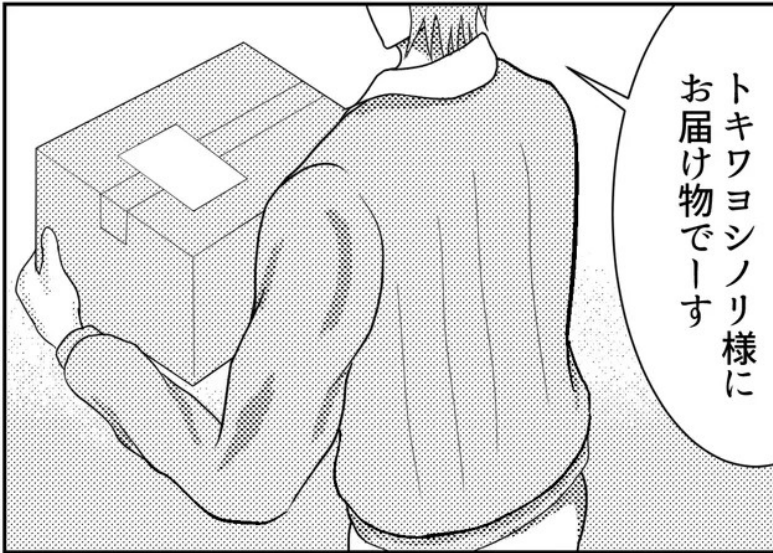




風船系女子

(♂)



それはこれといった取り柄の無かった僕が見つけたある趣味について…



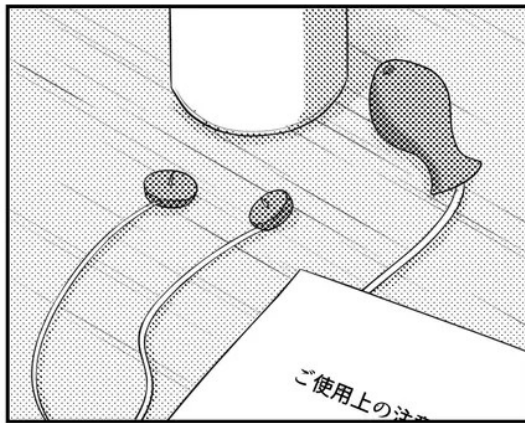


女装コスプレをした時の
この体っ!

す ら あ

きゅっ

そしてそれは技術が
向上すればする程
もどかしくなってきた…



任意の部位に注入すると
女性らしい体を強調できるらしい
何とも怪しすぎるガス…

しかし そんな時にネットで
見つけてしまったのがこれ

見た目だけならば他にも手はある



有効部位は全身…
声帯にも
効果があるって…?

えっ…



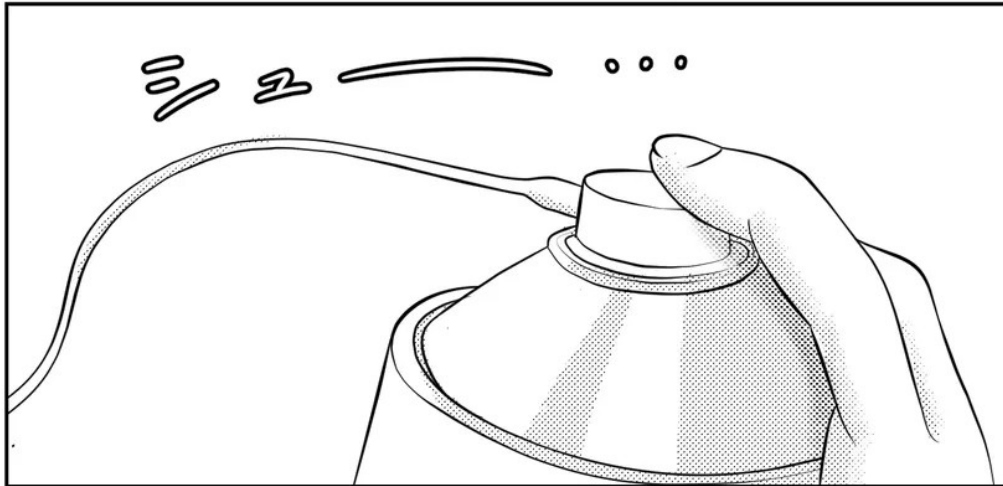
しかもこれ
そもそも女性専用らしく
男が使ったら
どうなるかは書いてない



めちゃくちゃ
胡散臭いなあ…

痛っ

ケッ



まあ元々眉唾物なんだし
どうせ大した事には
ならない…よな？



胸が
膨らんできた…？

ふっ
ふっ



えっ
—
!?

ぞし…

!?

お尻も張ってきて
本当に体が膨らんでる…!!

それに
全身ゾクゾクして
何か気持ちいい…?

マジ…ガみ…?

何だこの声—!?!
それにこのエロい姿が
本当に僕なのか!?

かあああ

あわわわ



さつきまでまっ平らだった胸が
空気ビニールみたいにパンパンに…



—— 凄い…!!
この風船おっぱい
揉むだけでめちゃくちや気持ちいい…

あいや…
これはコスプレのクオリティを
高める為で
やましい目的じゃ——



って…
何これ!?



えーい静まれ愚息!
この娘は僕自身なんだぞ!
(棒)



興奮で体が火照って：
ガスを入れてないのに
また膨らんでる!?

ドクン...

はぁ♡

パンッ

ギッ



ヤバいつ
体が膨らむほど
チンコまで気持ち良くなってきた
このままじゃ…

びし

びし

ギッ...

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡



パンパンになった体が
暴発しちゃうっつ!

あつあつ

ふくふく

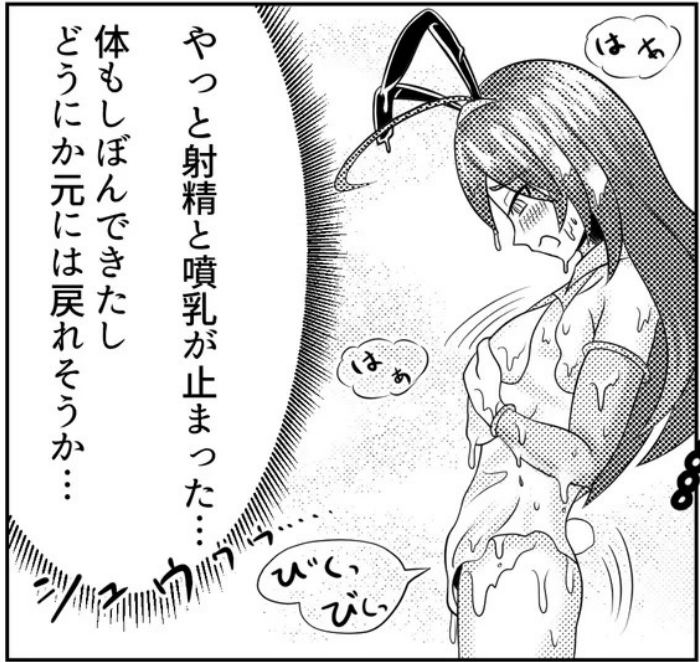
あつあつ

あつあつ

あつあつ



それから
少し経った頃

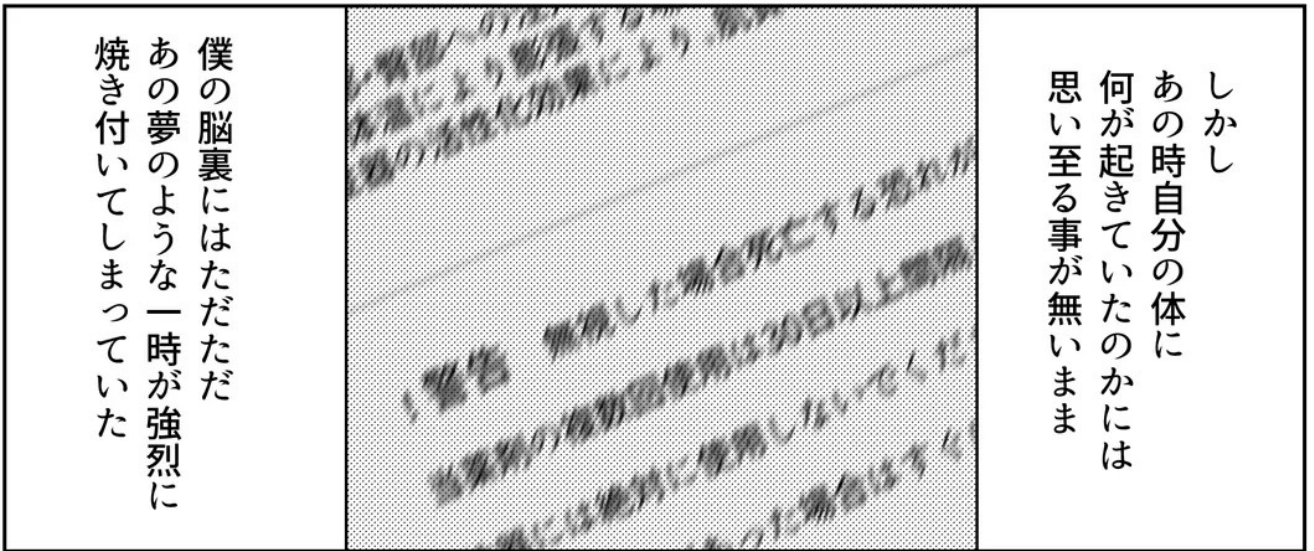


やっと射精と噴乳が止まった…
体もしぼんできたし
どうにか元には戻れそうか…



信じられない量の白濁を吹き出して
絶頂した僕の体は
すっかり元に戻っていた

そして横たわるベッドの上には
嗅ぎ慣れた僕のものに混じって
いつもとは違う臭いが充滿している



しかし
あの時自分の体に
何が起きていたのかには
思い至る事が無いまま

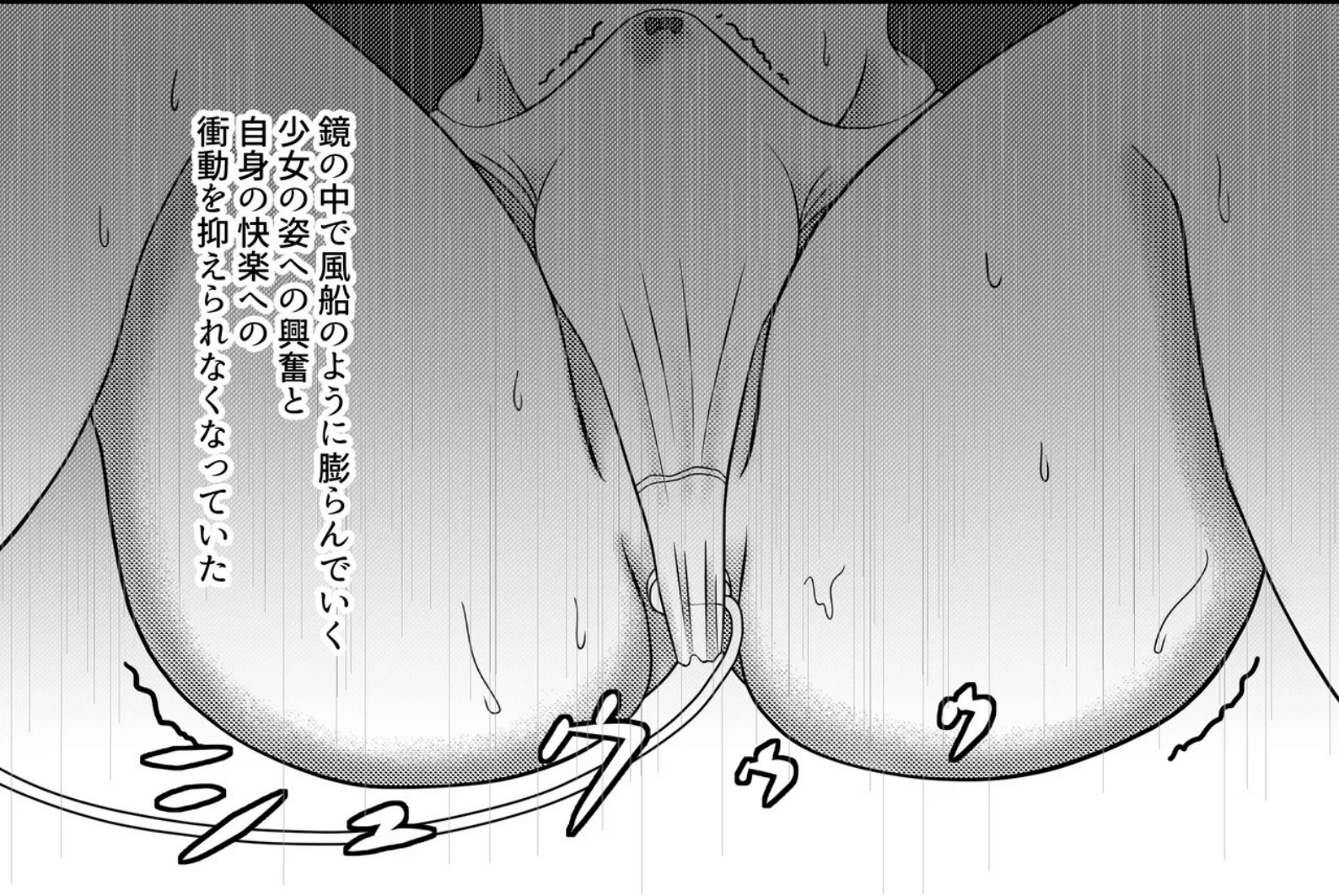
僕の脳裏にはただただ
あの夢のような一時が強烈に
焼き付いてしまっていた



そしてすっかり夢の虜になってしまった僕は

はぁるん!!

鏡の中で風船のように膨らんでいく少女の姿への興奮と自身の快楽への衝動を抑えられなくなっていた



でも
そんな模造少女の
慰みは長く
続かなかった

何か今日は
おなかの調子がやけに悪いな…

もやもや…

それに最近、体全体に
ずっと違和感があるんだよな…

気のせいかな…

はあ、

はぢ、♡

でも…
今は気持ちいいこともっとしたいっ！

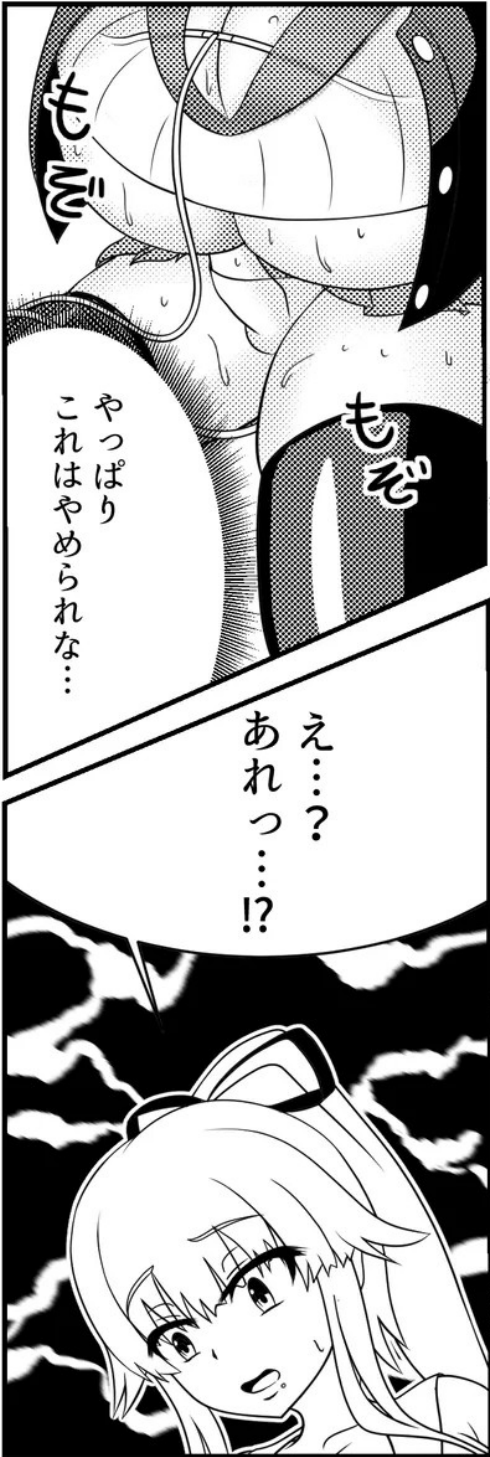
もよ

ギッ
…ツチ

もよ

やっぱり
これはやめられな…

え…？
あれっ…!!



チンコが
全然勃たない…？

何で…？

そうだ！
ガスを入れてみたら—

ぷんちゅ…

よしっ勃ってきた！
何で今まで気付かなかったんだ
チンコを膨らませれば絶対
気持ちいいに決まってるじゃん！

ぷんちゅ…

ぷんちゅ…

ぷんちゅ…

あれ……？
なんかタマまで
膨らんでないか……？

何か
垂れてる感じもするし
どうなってるんだ……？
汗……？

あっ♡
チンコがおっぱいに
届いちゃった

4ニユッ

!?

4

しゅ…しゅごいいっ—!!
チンコこんなに大きくなって
服破けちゃったあ♡



風船おっぱいに締め付けられて
剥けたてチンコ壊れちゃうよお…!!

痛いのに気持ち良くて
腰が止まらない…!!

男なのに…
自分のパイズリで
イっっちゃううっ…!!





アハハ

ア

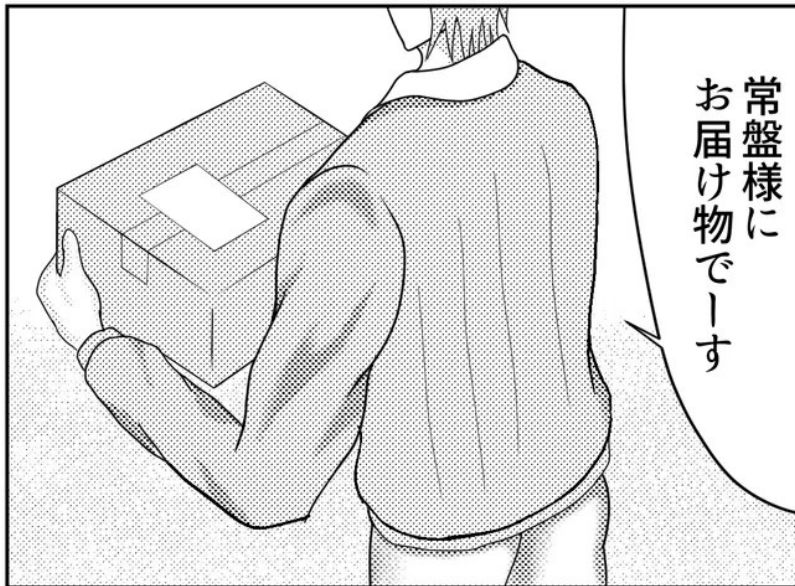
アハハ

アハハ

アハ



これが僕の男の体での最後の射精だった



常盤様にお届け物です



はい!

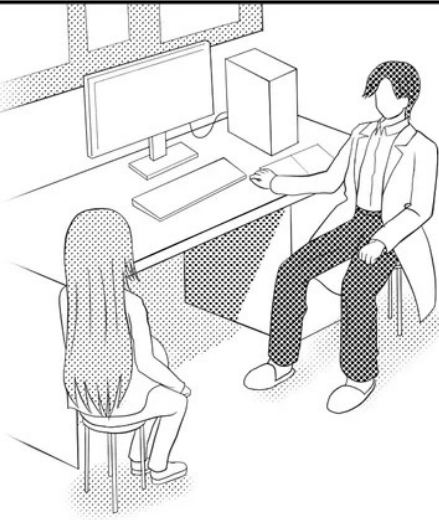
カチカチ!!

!?

…あれから僕の体は
元に戻らなくなってしまう

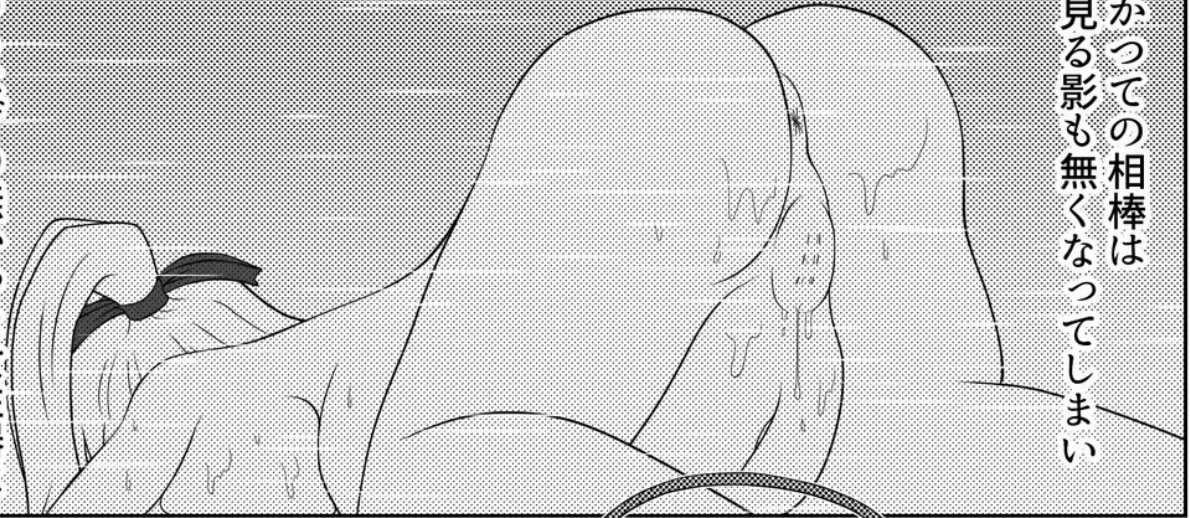


異様に膨れたお腹で異変を
確信した頃には時既に遅し



担ぎ込まれた病院では
男だと信じてもらえない

かつての相棒は
見る影も無くなってしまい



あるはずの無かった女性器は
誰かの精液でパンパン

傍目に見れば
そこに居たのはどこからどう見ても
ド変態な女の子だったのだろう…

ごん…



その後はどうにか退院できたものの
後遺症のような体の変化は止まってくれなかった



髪や肌は日に日につやを増し
ガスが無くとも興奮でおっぱいやお尻が膨らむ
特異体質にまでなってしまう…

そんな体に
僕の男のままの意識が平静を保てるはずがなく
更に体が膨らんでしまう悪循環



こうなつては空気を抜かないと
人目を引いてしまつて外出もままならない

この先
元の体に戻れるかは分からない

コト
ッ...

でもどうせこんなエロい体になっちゃったのなら——

いっそ思いっきり
楽しんでやるっ！

シユッ

シユッ

シユッ

シユッ

ムク

ムク

あれからすっかり
膨らむモノへの執着が
芽生えてしまった僕は――

…これ良いかも

ちゅっ

ちゅっ

グチュッ

ギョッ

グチュ

風船がおまんこに密着して
どンドン締め付けてきて…

シユッ

シユッ

気持ち良――

ム

ム

ギョッ

ギョッ





僕の気持ちが高ぶるほどに
この少女の体と行動は
どんどん淫らになっていく



もう…止まらない…っ
この体でもっと気持ち良くなりたい…
この体でイキたいっ…!!



ヒッ
ッ

ヒッ
ッ

ル
ッ

ッ
ッ

ッ
ッ

ッ
ッ
ッ
ッ

ッ
ッ

ッ
ッ

